

夜間学校 ニュース

1987年9月18日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

みんなでつくろう

みんなの 会館

三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

まだ続く

取上げの話

取上げの話

「このところ、夜間学校では、あいらん取安の取締まり強化について、話をしている。手帳を取り上げられて、自殺にまで追いつめられた仲間もいる」と話も伝え

た。先週は、どういわけか、職安にも温情がある」とい話も伝えられた。「職安にも温情がある」とい話のその一は、「取安かて手帳が労働者の生活の支えになって、ことはよく判っているらしい。六十を二えて、体を長く二わしているのか、どう見ても働らせているとは思えない人が十六番窓口には呼ばれて、もうそろそろ福祉の方に切り換えたらどうせといわれたらしい。その時は切替のこと何

も聞かれず、手帳もまだ取上げられていないとうだ。働いた現場を聞いただし働いていないことを確認した上でなく、そのことはもう承知しているのだが、すぐ手帳を取り上げたら生活に困るだろうから、早く福祉の手続きをするように、暗に言っているといのが本当だとすれば、なるほど温情があるようにも思える。しかし、これは温情でもなんでもない。大阪府労働部、

あいらん対策室の考えでは、手帳をもつて、アブシをもらっている者は、すべて現役の労働者なのだから。釜ヶ崎と共に、大阪府に釜ヶ崎の高令者対策を要求したところ、あいらん対策室は、「あなたたちのいわける高令者とは何オの人をさすのか判らない。現に取安では、七十オの人も、六十オの人もあり、アブシを受給している。だから、とりわけ高令者対策など必要はない」ときった。

七十であろうと六十であろう

と、アブシを受給している限り

現役の労働者であり、特に対策

を考える必要がないのであれば、

なぜ、その仲間は、福祉に切り

換えることを進められなければ

ならないのか。

大阪府が、釜ヶ崎の高令者対

策の必要を認めることにした。

というのなら、話は別だが、そ

れにしても、手帳取上げにつな

がる福祉への切り換えを勧める

ことだけが対策だとするならば、

温情主義というのはあたらす、

役所の身勝手、というべきであ

ろう。

高令者おけの仕事を紹介した

上で、なお、もはや働けない仲

間について、大阪市と相談して

生活保護にかかれるようにする

というのが、本当の温情ある扱

いというものだ。

もう一つの温情ある扱いとい

うのは、一枚や二枚については

大目に見ているらしい、という

こと。

これが温情である、というの

も疑問である。

三月に釜にきた仲間が、アブ

シ地獄にぶつかり、今やすつか

り認定病者になっているとい

う話がある。

釜に来て仕事のある三月はよ

く働いたらしい。工場内のカジ

屋さんだったが、釜のカジヤは

劇と高い所の仕事が多いので、

カジヤとしては仕事を続ける気

にならず、エカとして働いてい

た。ところが、仕事がなくなっ

て、どうしようもなくなる時期

に直面、初めてのことでウロウ

ロしている、気の悪い仲間が

色々教えてくめて、アブシをも

らって最近の生活だけは維持で

きるようになった。それはそれ

でよかつたのだが、仕事の多い

時期になっても、気持ちをおり

かえることができず、すつかり

認定病者というわけらしい。

これは本人にも考えなければ

ならないところがあるにしても、

本当に責任を感じなければなら

ないのは大阪府だ。

春のアブシ地獄は、今年だけ

の話ではなく、その時期に特別

就労対策が必要なのは、もう

何年も前から要求され続けてい

る。それに対して行政は何もこ

たえていない。まったく、無為

無策に終始している。

裏の道になじむようにしたの

は誰か、大阪府労働部ではない

か。そのことを反省し、対策に

取り組まないであって、取締ま

り、だけ強めるというのには、まっ

たく批判の通らない話だ。

一、二枚については大目に

見ているという話にしても、

ただ単に年がまわらないとい

うことではないのか。

温情というところではなく、

なすべきことをキツキツにお

こなうべきだ。

先週の参加者はいう、「十

六番に呼ばれて、話をしてい

るうちにカーンとなって、手

帳をほかしてしまふものも数

い、やはり、あまりカーンと

らずに、いうべきことをいっ

て自分の生活を守ったほうが

よいのではないかと

窓口では、とても落ちつい

て話をできるものではない、

特に、その年の話にあまりな

めていない多くの仲間にとっ

ては、感情的になることもや

おちえないと思う、が、カーン

ならず、いうべきことをいいた